

令和2年度事業検証結果(地方創生推進交付金関係)

事業名：中心市街地活性化事業

評価者：平塚市産業活性化推進会議

評価日：令和3年2月16日～3月8日

評価項目	進捗度合
意見交換会の実施	4.4
活性化事業の検討・実施	4.2
空き店舗対策の実施	4.0
再開発の検討	2.9

進捗度合凡例 5：順調 3：やや順調 1：遅延（委員評価の平均値を採用）
評価委員数 9名

委員コメント

- ・順調に行われていると理解した。
- ・平塚市中心市街地活性化調整協議会と今後どう連携していくかが課題と思われる。協議会の事業に空き店舗対策事業（空き店舗補助金、改装費補助金）をおこなっており、補助金のPRなど今後協議会と連携していくのが理想である。
- ・活性化事業の実施に対して、広報誌等で継続的に発信を願いたい。
- ・コロナ禍において会議や活性化事業など対策をとって行動しなくてはならない中、工夫して取組を進められたことは非常に評価される点だと思う。まち活隊の動きが、高校生や大学生、企業、市民までも巻き込む姿が素晴らしい展開になっていると感じた。こうした取組や話題が多く市民に伝わり、来訪者や参加者が増えていくこと、また、再開発が相乗効果を生み出すことに期待したい。
- ・西口開発、龍城ヶ丘、ツインシティ大神の新たな開発施設と既存のららぽーと、OSC、新港、中心商店街（駅含む）を回遊したくなるような“まちづくり”を意識して活性化を考慮したい。
- ・空き店舗対策の実施について、活発な活動が見られ、評価できる状況であると思われる。
- ・空き家の利用方法として、簡易的なインキュベーションセンターの設置を検討して頂きたいです。また、コロナ時代の新しい使い方として、オンデマンド授業を受ける学生が安価で利用できるカフェのようなスペースを設置する案はいかがでしょうか？周辺のレストランからテイクアウトできると便利だと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント開催については難しいと考えるが、平塚お弁当まっぷなど、コロナに対応した取組を評価したい。